

STEP 01

[選択とマスク]で緻密に選択する

CC CS6

Before



After

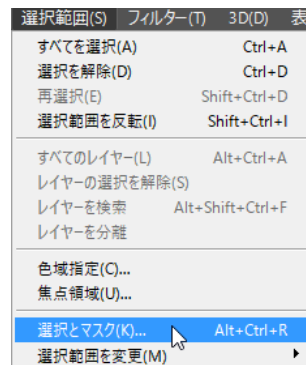


うまく選択することが難しいぬいぐるみを
[選択とマスク]を利用することにより、精
度の高い選択範囲に加工します。

Lesson 02 ▶ 2-3 ▶ 02_301.jpg

- 1 [自動選択] ツールで周囲の背景を選択して、[選択範囲]メニューから[選択範囲を反転]します。
- 2 [選択範囲]メニューから[選択とマスク]を選びます。

まず、ぬいぐるみをざっくりと選択します。あとから調整をするので、この段階ではあまり几帳面に選択する必要はありません。



[選択] ツールの利用中であれば、オプションバーにある[選択とマスク]ボタンをクリックする方法でもかまいません。

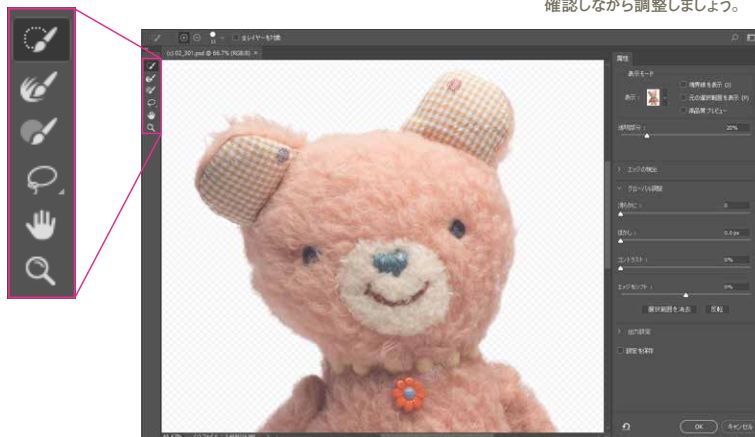
選択したあとでも調整ができる

[選択とマスク]はざっくりと作った選択範囲を、あとから緻密な選択範囲に調整することができます。特に髪の毛など、手動ではなかなか切り抜きづらいようなものの調整ができるので、うまく使いこなすとよいでしょう。Photoshop CC 2015.5から登場した機能ですが、それ以前のバージョンであれば、[境界線を調整]を利用しましょう。

- 3 ツールを使って境界の調整します。

[選択とマスク]ワークスペースの左上にはツールが並んでいます。一番上が[クイック選択]ツール。2番目は[境界線調整ブラシ]ツールで、これを使って境界線をなぞると繊細な選択ができます。3番目の[ブラシ]ツールを使えば手動で仕上げられます。それぞれ、選択し過ぎた場合は[Alt] (option) キーを押しながら作業をすれば、マイナスの働きになります。

ワークスペースの右側の[グローバル調整]では、選択範囲の調整ができます。たとえば[滑らかに]で滑らかにしたり、[ぼかし]でぼかしたり、画面で効果を確認しながら調整しましょう。



調整のポイント

境界線の調整のポイントは、境界部分を見やすくすることです。そのために[表示モード]の[表示]を切り替えます。たとえば、右は[白黒]にしていますが、ほかにもさまざまなモードがあるので、適宜切り替えたり、拡大表示しながら調整しましょう。



[自動選択]ツールを使ってざっくりと選択した段階。[表示モード]は[白黒]にしています。

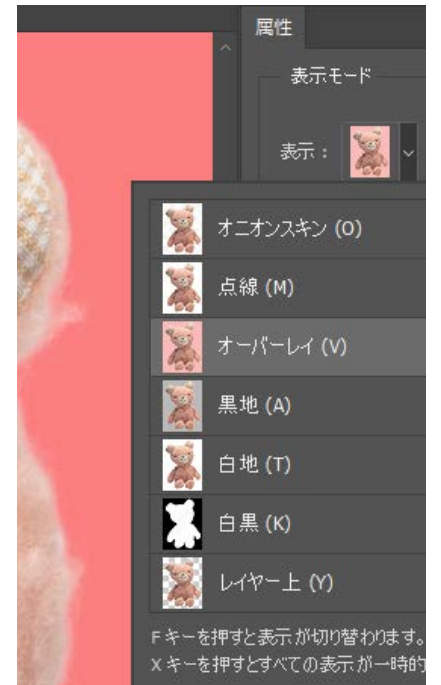


[境界線調整ブラシ]ツールを使って、境界部分をなぞると、境界の毛の部分が現れます。



最後は[ブラシ]ツールを使って、境界以外の部分を塗りつぶして完成です。

- 4 [表示モード]を切り替える。



[表示モード]には、[オニオンスキン] [点線] [オーバーレイ]のほか、さまざまなモードがあります。画像によってどれが見やすいかは異なりますので、ひとつのモードに固定せず、いろいろ試してみるといいでしょう。

選択範囲の保存と読み込み

CC CS6

交互に変換が可能

選択範囲は保存でき、あとからその選択範囲を読み込むことが可能です。保存する場合は、選択をしている状態で[選択範囲]メニューから[選択範囲を保存]を選択し、[選択範囲を保存]ダイアログボックスで名前をつけて[OK]をクリックします①。また保存した選択範囲を読み込むには[選択範囲]メニューから[選択範囲を読み込む]を選択します②。選択範囲を保存するとその名前の[アルファチャンネル]として保存されます③。詳しくはLesson07「マスクと切り抜き」で触れますが、[選択範囲]と[アルファチャンネル]は相互に変換可能であり、実際の作業の中でもこの変換はよく行われます。うまく変換しながら作業をするといいでしょう。



① [選択範囲]メニューから[選択範囲を保存]を選択すると現れるダイアログボックス。



② [選択範囲を読み込む]では、保存していた選択範囲を読み込むだけでなく、別の選択範囲をプラスしたりマイナスしたりという操作もできます。



[チャンネル]パネルを見てみると、選択範囲がアルファチャンネルとして保存されていることがわかります④(保存時に名前を入力しないと「アルファチャンネル」と自動で名前がつきます)。このチャンネルを選択した状態で、[チャンネルを選択範囲として読み込む]ボタンをクリックすると④、選択範囲が読み込まれます。

5-4 パスの作成と編集

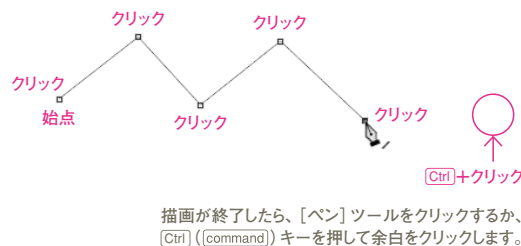
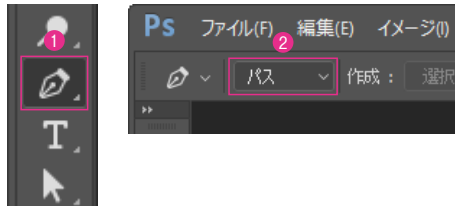
パスを正確に描画するには、アンカーポイントの位置とセグメントの調整が重要です。
とくに人物や商品など、被写体の輪郭をトレースして切り抜く場合は
[ペン] ツールの正確な操作が欠かせません。
[ペン] ツールの基本操作をしっかりマスターしましょう。

STEP 01 [ペン] ツールの基本操作 CC CS6

直線を描く

Lesson05 ▶ 5-4 ▶ 05_401.psd

- [ペン] ツール①を選択し、オプションバーで[パス]②を選択していることを確認します。
- 直線の始点をクリックして離れた位置でクリックすると、その2点がつながり直線が描画されます。クリックを繰り返すと連続した直線が描画されます。



- [パス] パネルには、[作業用パス] として表示されます。なお、[レイヤー] パネルには何も表示されません。



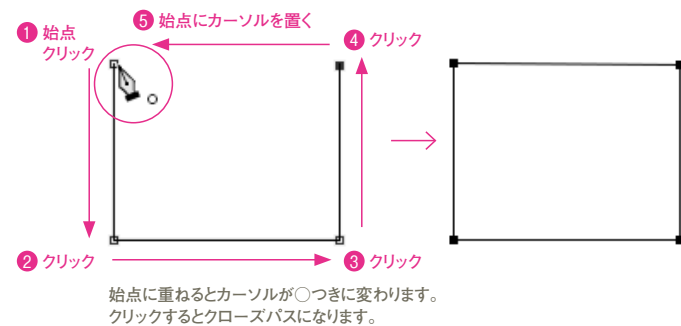
水平、垂直、 45度で直線を描く

CHECK!

[ペン] ツールで直線を描画する際、[Shift] キーを押しながらクリックすると水平線、垂直、45度線が描画できます。

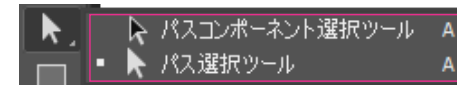
クローズパスを描く

[ペン] ツールで線を描画し、最後に始点のアンカーポイントにカーソルを置き、カーソルが変わったらクリックしてパスを閉じると、クローズパス (閉じた図形) になります。

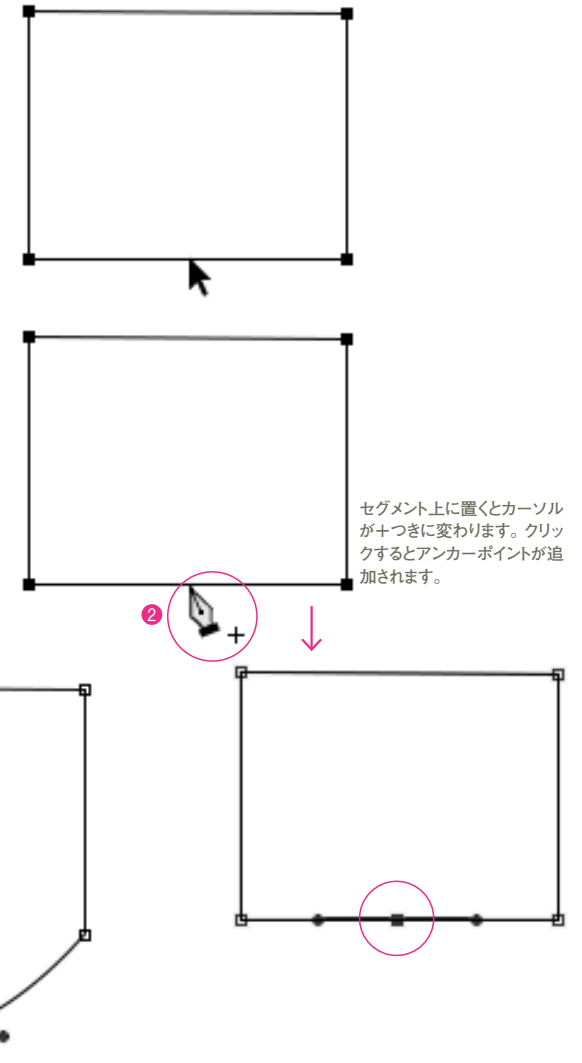
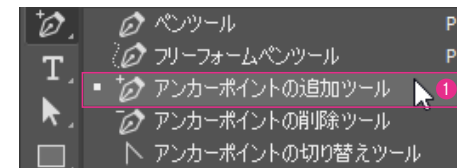


アンカーポイントを追加する

- [パスコンポーネント選択] ツールや [パス選択] ツールで、パスをクリックして選択します。



- [アンカーポイントの追加] ツール①を選択してセグメント上にカーソルを置き②、クリックするとアンカーポイントが追加されます。

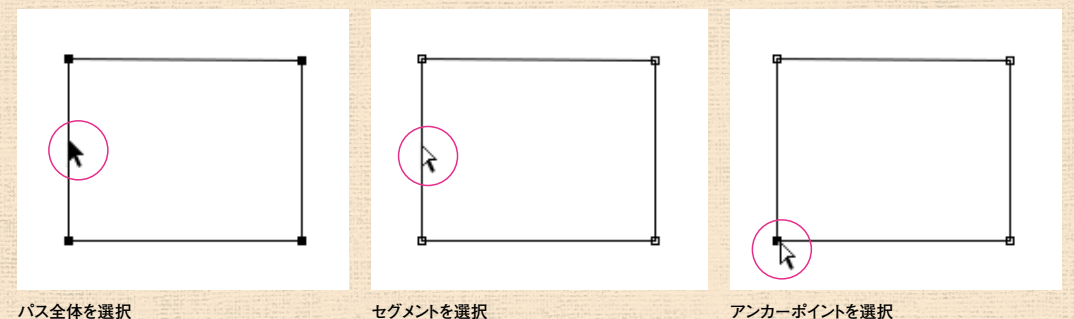


- 追加したアンカーポイントをドラッグすると曲線になります。

COLUMN

パス選択ツールの使い分け

[パスコンポーネント選択] ツールはクリックしたパス全体を選択し、[パス選択] ツールはクリックまたはドラッグしたセグメントやアンカーポイントだけを選択します。



STEP 03 パースに合わせて不要物を消す

CC CS6



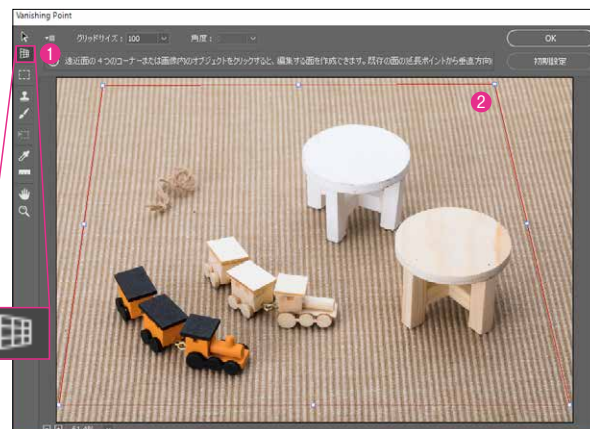
パース（遠近感）のついた画像を修正する場合、[Vanishing Point] を使えば、パースに沿った変形（拡大・縮小）を自動的にしながら、不要物を消すことができます。

Lesson 11 ▶ 11-1 ▶ 11_103.jpg

バニシングポイントを利用する

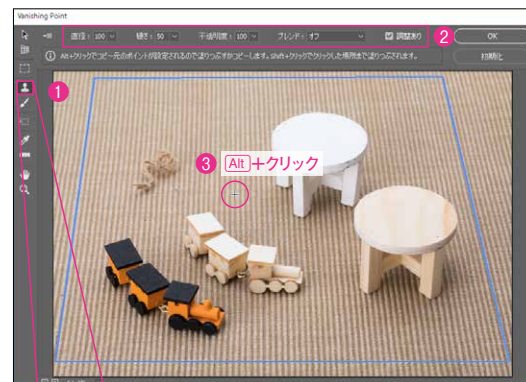
ここでは画面中央左上にあるヒモを消してみましょう。[Vanishing Point] でパースに沿った遠近を指定することによって、[スタンプ] ツールの使用時に、自動的に画像が拡大・縮小され、自然なイメージで仕上げるすることができます。

- 1 [フィルター]メニューから[Vanishing Point] を選びます。[Vanishing Point] ウィンドウが開きます。[面作成] ツールを選び①、背景の生地の広がりに合わせて図のように4カ所をクリックして面を作成します②。あとからポイントをドラッグして変形することもできます。



作業は面の内側で行われるため、十分な広さを確保してください。

- 2 [スタンプ] ツールを選び①、オプションバーで[直径]を「100」px、[硬さ]を「50」%、[不透明度]を「100」、[ブレンド]は[オフ]にし、[調整あり]にチェックします②。[Alt] (option) キーを押しながら生地の部分でクリックしてコピー元を指定します③。



[ブレンド] はコピー元とコピー先の画像の混ざり具合を指定します。

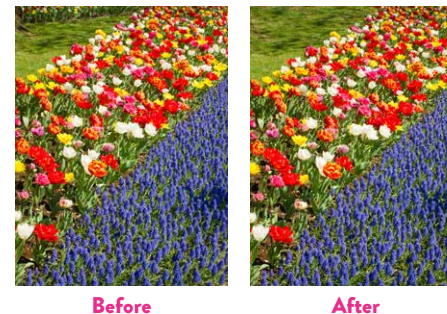
- 3 ヒモの部分にマウスを移動すると、コピーされる画像が表示されます。敷いてある生地のテクスチャが揃う位置にマウスを合わせてドラッグし、ヒモを消します。ひもを左右から挟み込むようにして処理すると、より自然に仕上がります。[OK] で確定します。



必要に応じて[直径]や[硬さ]の値を変えたり、またコピー元を指定し直したりしてなるべく自然に仕上げるようにします。

STEP 04 被写体の不足を補う

CC CS6



デザイン上の都合で、不要な部分を消して自然な感じに埋めたい場合があります。これが簡単にできるのが[コンテンツに応じる]を利用した[塗りつぶし]です。

Lesson 11 ▶ 11-1 ▶ 11_104.jpg

コンテンツに応じる塗りつぶし

画面上部に中途半端に写り込んだ花畑を消し、芝で埋めてみます。[コンテンツに応じる]は[塗りつぶし]でも利用可能で、これは比較的広範囲に適用したい場合に有効です。画像を回転した際に生じる四隅の余白などにも応用できます。

- 1 [なげなわ] ツールを選びます。オプションバーの[ぼかし]を「3px」とします。



[ぼかし]の値は小さ過ぎても大き過ぎても境界が不自然に目立ちます。画像によって調整してください。

- 2 上部の花畑に対し、ひとまわりほど大きめにドラッグして選択範囲にします。選択範囲はあまり大きくないほうが、きれいに仕上がります。



- 3 [編集]メニューから[塗りつぶし]を選択して、[塗りつぶし]ダイアログボックスを表示します。[内容]は[コンテンツに応じる]①、自然に仕上げるために[カラー適用]にチェックを入れ②、[描画モード]は[通常]③、[不透明度]は「100」%④とします。[OK]をクリックすると、花畑の代わりに芝で埋められます。[Ctrl] ([command]) + [D] キーで選択範囲を解除します。



選択範囲で仕上がりが変わる COLUMN

絵柄によっては境界部分が不自然になったり、また意図しない絵柄で埋められることがあります。そのような場合は、選択範囲の作成からやり直すと、うまくいくことがあります。